

1 次の文を読んで、後の各問に答えなさい。

明治維新以後、日本は、西洋のありとあらゆるものをとりいれるべくつとめた。政治のしくみ、法律と裁判、各種の産業、建築や交通機関、通信手段、学校と教育、学問芸術、軍隊警察、衣服や食品等の生活用品、それに運動やあそびまで——。それらにはみな、名称や用語（もちろん西洋語の）がともなっている。日本人はこれをことごとく日本語に訳そうとし、また実際訳した。それに漢字が動員され、数千数万語にのぼる和製漢語が作られたのである。

われわれがこんにち、現代の社会に生活していて、新聞や雑誌で見ることば、テレビやラジオで聞くことば、われわれの親やわれわれ自身が日常にもちいて来た、また現に毎日もちいていることば、その大半は明治以後につくられた。前に出てきた、政治、法律、裁判、産業、建築、交通、機関、通信、手段……。これらのことばも、西洋語の翻訳、つまり新しい和製漢語だ。

高島俊男『漢字と日本人』

明治以降に作られた和製漢語の例をさらに挙げると、「政府」・「議会」・「行政」・「選挙」・「企業」・「証券」・「金融」・「保険」・「電器」・「機械」・「経理」・「総務」・「鉄道」・「電気」・「競走」・「心理」・「科学」・「体育」・「陸上」・「野球」……。本当にきりがありません。

ところで、これらの漢語（漢字熟語）は、それぞれの漢字がもつ意味を重視して作られており、発音するときは漢字を音読みします。和製漢語は、かつて中国から取り入れた漢字の特徴をうまく利用しているのです。

これらの和製漢語が表すのは、それまでの日本にはなかった概念です。私たちは外国、特に西洋から入ってきた抽象概念を漢語によって表して、思考やコミュニケーションを行っているのです。

問1 本文の内容をふまえて、「漢語」の長所と短所について述べなさい。

問2 21世紀の今日、「漢語」がすでに存在するにもかかわらず、外国のことばをそのまま話すことや、カタカナで書くことが見られています。このことについて、具体例を挙げて、あなたの考えを述べなさい。

2 次の文を読んで、後の各問に答えなさい。

理科室の後片付けに、タツオ君とクニコさんが手伝いに来た。先生がいれてくれたお茶を飲まずに後片付けをしていた二人と先生の会話を聞いてみよう。

タツオ 「お茶がもうすっかり冷めてしまったね。最初に飲んでおけば良かった。」

クニコ 「茶わんのお茶は冷めてしまったけど、やかんに入っているお湯はまだ冷めていないわ。どうしてなのかしら？」

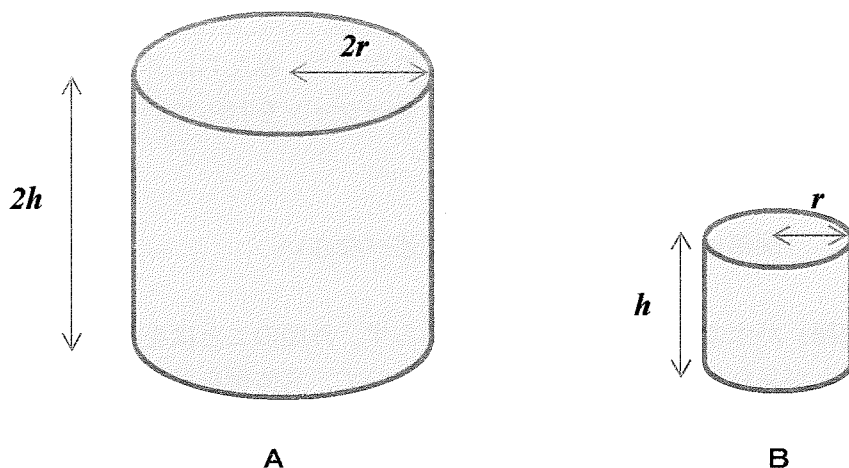
先生 「冷めるという現象は、熱が周りに逃げてしまうということです。熱はどこから逃げてしまったのか、わかりますか。」

タツオ 「茶わんの表面からではないでしょうか？」

先生 「そうですね。熱は茶わんの表面から空気中へと逃げてしまったので、冷めたのですね。それでは、なぜ、茶わんに比べて、やかんのお湯はあまり冷めなかったのでしょうか？」

クニコ 「茶わんに比べて、やかんはお湯の量が多かったからではないですか。」

先生 「お湯の量だけの問題ではないのですよ。ここに2つの円筒形の容器AとBがあります。AとBは相似形です。AはBに比べて、底面の半径も、高さも2倍あります。この2つの容器にお湯を満杯に入れてしばらく放置した場合、AとBでは、どちらが冷めやすいでしょうか。その理由も考えてみてください。」



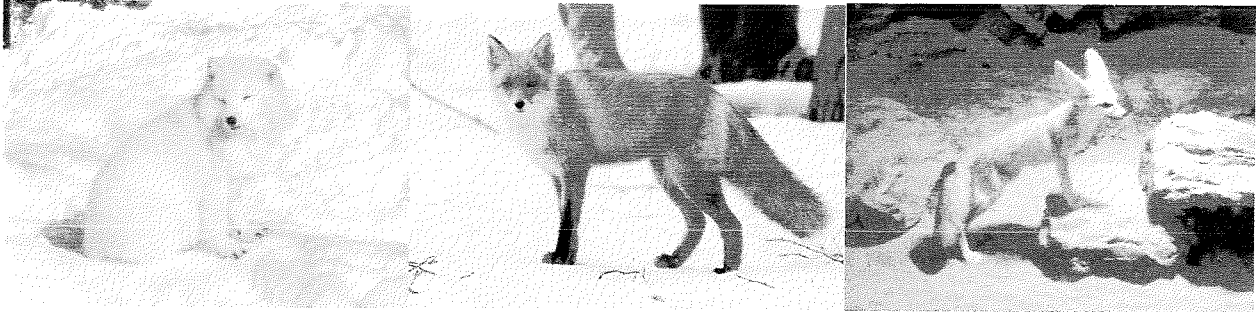
タツオ 「 ① 」

先生 「そのとおりです。お湯の冷め方には、量以外にも重要な要素がありますね。」

先生 「ところで、理科室の前には、3種類の“クマ”の標本があります。この3種類のクマは、からだの大きい順にヒグマ、ツキノワグマ、マレーグマです。生息している場所は、ヒグマが最も寒い地域で、マレーグマが最も暑い地域です。私たち動物のからだは、同じ種類でも生活する場所によって異なっており、気温とからだの作りには、密接な関係があります。寒い地域に生息している動物では、茶わんにくらべてやかんのお湯が冷めにくかったように、体温を逃がさないようにするために、からだが大きくなっています。」

クニコ 「動物のからだは、環境に影響を受けているのね。」

先生 「それでは、次の写真をご覧ください。この写真にはキツネが写っています。左から順に、ホッキョクギツネ・キタキツネ・フェネックというキツネの仲間です。左から順に寒い地域から暑い地域に生息するキツネへとなっています。このキツネたちのからだの特徴を見てください。これらのキツネは、体温を逃がさないようにする仕組みとして、クマの場合とは異なるものがあります。それはどんなことでしょうか。」



問1 タツオ君の①について、AとBではどちらが冷めやすいか、その理由もあわせて答えなさい。

問2 それぞれのキツネのからだの特徴をよく見て、最後の先生の質問に答えなさい。

2

[問 1]

[問 2]

受 検 番 号

(学校記入欄)

--	--	--